

## ご挨拶

こんにちは。カイロプラクティックインカエビ院長の中下典昭です。

私は現在はカイロの先生の立場ですが、もともと患者でした。慢性的な腰痛で、あちこち整体院や鍼灸院に行きました。しかし、施術を受けておくと調子が良いものの、しばらくするとまた痛みの繰り返しで、整体院を渡り歩く「整体ジプシー」のようなことが続いていました。そんな時、

友人がやっていたカイロの施術院に通ってみたところ、しつう良くなっていました。

特に先生に勧められた整骨パンツや寝具を使ったところ、腰が軽く楽で、これまでに必ず年に1~2回、呼び出しおののにやってくるギックリ腰からも開放されました。これはすごい! ということで、結局カイロプラクターの資格を取るに至りました。

現在では多くの仲間や患者さんに囲まれ、楽しく仕事をさせて頂いて、幸せだなぁ(加山雄三風に、あゝ?)と感じているところです。

ただ、ひとつだけ悔やみえる事があります。

私事で恐縮ですが(と言っても、この文章のほとんどが私事ですが……)平成20年6月に

私の父親が亡くなりました。肺線維症というまだ治療法が確立されていない難病でした。その病気を発症するずっと前から、父は「背中が凝るから揉んでくれ」とよく言っていました。今思えば背骨が慢性的に歪んでいたのでしょう。

これはカイロに出会ってから知った事なのですが、背骨の歪みと内臓疾患などの慢性病には深い関係があることがわかっていました(詳しくは施術を受けに来られたらしっかり説明しますね)。

もっと早くカイロに出会って、その事を知っていたら、父はもっと長生きしてくれた

かもしれない、と思うのです。大のカープファンだった父が亡くなったのは

マツダスタジアムが完成する前年でした。「早く良くなって新しい球場に

カープの試合を観に行こう」と励ましていたのですが、結局あの楽しい

ボールパークの姿を見ることはありませんでした。とんだ心が残りです。

皆さんの周りにも大切な人が居ることと思います。是非一度ご来院いただき、

骨格の歪みと健康の話を聴いて、体感してみてください。

世界で一番大切なあなた自身の為にも。

カイロプラクティックインカエビ

院長 中下典昭